



2023年4月26日

各位

会社名 株式会社カーチスホールディングス
(コード番号 7602 東証スタンダード)
代表者名 取締役兼代表執行役社長 長倉 統己
問合せ先 経営企画部 課長 高橋 英知
(TEL 03-3239-3185)

2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月11日に公表いたしました2023年3月期通期連結業績予想を下記の通りに修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2021年11月10日発表)	百万円 20,000	百万円 480	百万円 480	百万円 380	円 銭 18.38
今回実績(B)	19,082	△481	△452	△498	△24.09
増減額(B-A)	918	△961	△932	△878	
増減率(%)	△4.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	18,383	201	213	△293	△14.19

2. 修正の理由

2023年3月期の連結業績につきましては、売上高は概ね計画通りの推移となり、販管費においてもコスト効率化を図ってまいりました。

一方で、連結子会社である株式会社カーチスにおいて、車両買取りは概ね計画通り進捗したものの、これまでのビジネスモデルにおいては、一般顧客への小売り、業者販売と比べ、オートオークションの売上構成の比重が高かったことから、2022年10月以降のオートオークション相場の下落に伴い、収益力が低下し、2023年3月期中の回復を図ることができませんでした。

このため、2024年3月期第1四半期以降の確実な黒字体質への転換を図ることを目的として、当第4四半期会計期間において、長期在庫車両を相当数処分したことによる一台当たりの粗利の減少が影響し、各利益の業績予想を大幅に下回る見込みとなりました。

3. 今後の見通し

今後は、長期在庫車両を処分したことによる在庫車両の回転率向上及び車両粗利の確実な改善が見込めるとともに、小売り及び業者販売の強化、並びに付帯商品・整備等サービスメニューの一層の充実による収益改善を図り、また海外事業の本格稼働とともに、新規事業分野であるカーチスファンドを活用したリースバック関連事業の一層の推進強化により、事業構造の多角化を図ること、当社グループの持続的成長と企業価値の更なる向上を図る所存です。

株主の皆様には、一層の業績拡大を達成すべく尽力してまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

以 上